

2004年 6月議会

青梅市議会六月定例議会は、六月五日から二十二日までの予定で開かれます。市長から、市税条例の一部を改正する条例の専決処分など認定案件四件、条例関係議案六件、その他の議案五件が送付されました。一般質問は十六人が通告しました。日本共産党の斉藤光次議員は十番目、藤野ひろえ議員は十一番目、西村れい子議員は十二番目です。日本共産党は、市民のくらし、福祉、教育を守るために全力をあげてがんばります。ぜひ議会を傍聴してください。

一般質問

斉藤 光次議員

- 1 市民の暮らし、福祉、教育の充実に
行財政計画、事務事業の見直しに関連して

青梅市は平成八年に策定した行政改革大綱以来、敬老金の支給対象や金額の削減など市民の暮らし、福祉の制度の廃止などをすすめ、市民に大きな影響が出ています。市長は、介護保険制度の低所得者への市独自の減免制度もつくらず、国や都の制度の範囲内との考えを示し、今ある市独自の制度の見直しをしようとしています。

このような政策を改め、福祉制度の充実に転換するよう求めるとともに、今まで削られた母子世帯への家賃助成制度などの復活とし独自の身体障害者への助成、就学援助の市独自の支給基準などの維持と充実に求めます。

- 2 都市計画税の軽減を

藤野ひろえ議員

- 1 都市計画道路3・4・4号線（通称
千ヶ瀬バイパス）延伸計画は見直しを

千ヶ瀬バイパス延伸計画は、滝ノ上から日向和田まで全長1200m、幅員20mの幹線道路を東京都がつくるものです。これまで説明会や測量も行われ、昨年、都は滝ノ上町から天ヶ瀬町までの区間について事業認可をとっています。しかし、地域住民からは「60棟が移転しなければならない、騒音、大気汚染等環境破壊になる。地域コミュニティが損なわれる。財政難のおり、この計画は中止してほしい」など、事業の見直しを願う声が寄せられています。青梅市は都に協力して推進していますが問題です。地域住民が安心して住み続けられる町づくりの観点から事業の中止を求めて質問します。

- 2 在宅酸素療法患者に助成を

西村れい子議員



- 1 三十人学級の積極的実施を

国の法律が変わり、都道府県の裁量で四十人以下の編成が可能となりました。その後三十人規模の学級が全国的に広がっており、学力向上や学校生活において、大きな成果をあげていることが報告されています。しかし、責任と負担は自治体に押し付けています。また、教職員の配置など問題点がたくさんあります。

少人数学級は、ゆき届いた教育を行うための重要な課題です。子どもと教員がふれあい、成長できる学校にするためにも、三十人学級を求める運動も広がっています。三十人学級に対する市の考え方や国や都に計画的に実施するよう働きかけをすることを求め質問します。

6月議会に市民・市民団体等から提出された陳情

- 1 介護保険制度の見直しに関し、国に意見書提出を求める請願（厚生委員会）
- 2 緊急地域雇用創出特別交付金の継続・改善を求める陳情（参考配布）
- 3 新規残土埋立て事業計画を許可しないよう関係機関に要請願いたい（厚生委員会）
- 4 永住外国人の地方自治体参政権確立の為の意見書採択をもとめる陳情（参考配布）
- 5 介護保険事業者（特にNPO法人）のボランティア事業に支援を求める陳情（厚生委員会）
- 6 新庁舎の中に音楽ホール設置願（庁舎建設特別委員会）

議会日程（予定）

- | | | | |
|----|--------|-------------------|----------|
| 6月 | 5日（土） | 本会議 | 議案上程 |
| | 7日（月） | 本会議 | 一般質問 |
| | 8日（火） | 本会議 | 一般質問 |
| | 9日（水） | 本会議 | 一般質問 |
| | 10日（木） | 常任委員会 | |
| | 11日（金） | 常任委員会 | |
| | 14日（月） | 全員協議会 | |
| | | 土地開発公社評議員会 | |
| | | 庁舎建設特別委員会 | |
| | 15日（火） | 医療体制確立に関する調査特別委員会 | |
| | 22日（火） | 本会議 | 委員会審査報告等 |



日本共産党青梅市議団報告

NO. 350 2004.6.4

斉藤 光次 22-8715 FAX 22-7463
 藤野ひろえ 76-1670 FAX 76-2024
 西村れい子 74-4459 FAX 74-7273

なんでも相談

くらし 失業 福祉 年金 医療
 法律問題などお気軽にご相談ください
 議員またはもよりの支部、党員まで